

直方ミニバスケットボールクラブだより

魅力的な人に・・・



おとなどうしの連携が子どもの成長・発達を効果的に促す

先週、先々週、直方北小の先生が、子どもたちの活動のようすを見に来られました。今、それぞれでがんばっていること、このあたりを気をつけてほしいと思っていることなど、意見交換をしました。連携して取り組むことで、子どもの成長・発達を促すことができます。学童クラブの職員の方とも時折、同様のコミュニケーションを図って、相互に子どもたちをサポートするようにしています。子どもをとりまく複数のおとなが、それぞれの立場から子どもを見守り、励ます取り組みを進めることで、成長・発達を効果的に促すことができます。

OBの姿に学ぶ（よきモデルとして）①

また先日は、今、直方北小学校に教育実習に来ている直方クラブのOBが体育館に寄ってきました。現役6年生の時にはキャプテンをしていました。とても誠実で、懸命にメンバーに声をかけ鼓舞して活動を進めてくれていました。この日は、30分程度、練習ゲームを見て、最後に、「一人の人だけを見てプレーするのではなく、もっと全体に視野を広げて…」など適格なアドバイスをおくってくれました。すでに採用が決まっており、来春からは教職員としていずれかの学校に赴任する予定です。学校現場のきびしさはありますが、ぜひがんばってほしいと思っています。

OBの姿に学ぶ（よきモデルとして）②

それ以前にも、もう一人、OBが体育館に寄ってくれました。低学年から入部していましたが、その頃は、学校とクラブの両立が難しく、どちらかという学校生活がうまくいっていませんでした。直方クラブでの活動を通じて、上学年になるにつれて、考え方や判断力、自律心や自己調整力を身につけ、この子も6年生のときにはキャプテンとして活動をリードしてくれました。常にチーム全体を鼓舞しつつも、下級生には根気強く、ていねいにアドバイスしてくれていました。プレーはとてもうまく、頼りになるキャプテンとして活躍していました。高校もバスケットで進学先を選び、今夏、最後の大会を終えたところです。すでに就職先が内定し、その報告に来てくれました。来春から社会人として一步を踏み出します。

小学校6年生の時、学校の教育活動（この人がいてくれてがんばれた経験）で記してくれていたことが、校区の人権文化祭で展示されていたのを、当時、見ました。うれしかったです。

ぼくにとっていてくれてがんばれる人は、先生です。

その理由は、ぼくが低学年のころ気持ちが荒れていて、授業もまともに受けれていなかったぼくに、バスケのことだけではなく、人間性のことに対しても学ばせてくれました。

だからぼくも、いつか恩を返せたらいいなと思います。

その後の彼の姿に、思いは受け取りました。

メンタルに裏打ちされた技術力を

9月29日(日)の練習でコーチに、6年生に対してミーティング(学習)をしてもらいました。子どもたちに将来どんな人間になりたいの?どんな夢があるの?などを聞き、そのうえで、自分を育てるために大切なこと、考え方等について話してもらいました。

「メンタルトレーニング」ということばがよく聞かれるようになっていきます。以前から注目されるようになっていて、スポーツ以外の世界でも重視されてきています。今、脳科学や心理学等の理論を応用したトレーニングが開発され、メンタルトレーニングも進化しています。大リーグで大活躍している大谷選手や菊池選手、今春からオックスフォード大学に進学して野球をする道を選択した佐々木選手を擁した花巻東高校では、「SBT(スーパーブレイントレーニング)／西田一見」が導入され大きな成果をあげています。昔ながらの「気合・根性」から、「指向・思考」重視へ転換が図られ、プラスイメージをもちプラス思考で楽しんでプレーすることが大事にされるようになっていきます。大谷選手が高校生のとき書いて、自室に貼って毎日それをながめて自分を調整していたという「目標達成シート(通称マンガラート)」は有名です。子どもたちにも見せました(下図:関係するところだけことばをいれています)。

まさに、日ごろ子どもたちに求めていることに重なります。もちろん高校生が書いた内容ですから、それがそのまま小学生(6年生)に、同じ質で理解できるとは思いませんが、この人たちが何を大事にしてきたことが、今につながっているかということは伝えたいと思います。

2023年のWBCのスピーチで有名になった「(大リーグの選手に)今日だけは憧れるのをやめましょう」といった大谷選手のことばは記憶に新しいと思います。このあと、日本中を歓喜させました。

今、また河村勇輝選手が、NBA 挑戦で湧いてますね。さまざまな情報を見るにつけ、技術もさることながら、彼の人間性(考え方、志向性、関係力)が高く評価されています。高い技術力も、このようなメンタルに裏打ちされていなければ、大成することはありません。技術的な能力の高さだけでは、夢の実現は叶いことを、イチロー選手、大谷選手、河村選手が示してくれています。舞台の大きさは違いますが、このことは、私たちおとなを含め、すべての人、子どもたちに言えることだと思います。

半年後には小学校を卒業する6年生に、今の自分をさらに成長させるために大事なことは何かを届けたいという思いで設定したミーティングでした。